

## 上宝における地殻変動連続観測

和田安男・重富國宏

### 1. はじめに

京都大学防災研究所附属地震予知研究センター上宝観測所では蔵柱観測室において伸縮計・傾斜計による地殻変動連続観測を実施してきている。今回は最近19年間の地殻歪及び傾斜の経年変化について報告する。

### 2. 地殻歪の経年変化

図1に1984年1月1日から2002年12月31日までの伸縮計水平3成分（ECはE成分のそれぞれの中間点）の毎日0時の観測値及び日雨量を示す。E1は電気回路のトラブルと思われる1988年の急な伸びやセンサーの故障修理の影響と考えられる2000年の急な縮みを除けば、直線的な経年変化を示している。E2の経年変化も直線的な変化をしているが1995年頃に屈曲変化が見られる。これに対してE3の経年変化は電気回路のトラブルと思われ

る1998年夏から秋頃までの変化（感度の劣化）や2002年の故障修理の影響と思われる急な伸びを除いても前2者に比べて小さい。なおE2,E3の2000年初頭から秋頃までの直線は落雷により、センサー等の故障による欠測期間中である。EC3成分の経年変化はE3成分とそれぞれほぼ同様であるが1993年から1996年までの間は3成分共この期間前後とは逆の変化をしている。

### 3. 地殻傾斜の経年変化

図2に1984年1月1日から2002年12月31日までの傾斜計の毎日0時の観測値を用いたベクトル図及び観測値を示す。ベクトルは南西方向に傾いていたのが1995年頃より南方向に変化をした。WT21は直線的な経年変化を示しているがWT31は1995年に同方向のE2と同様に直線的経年変化に屈曲変化が見られる。

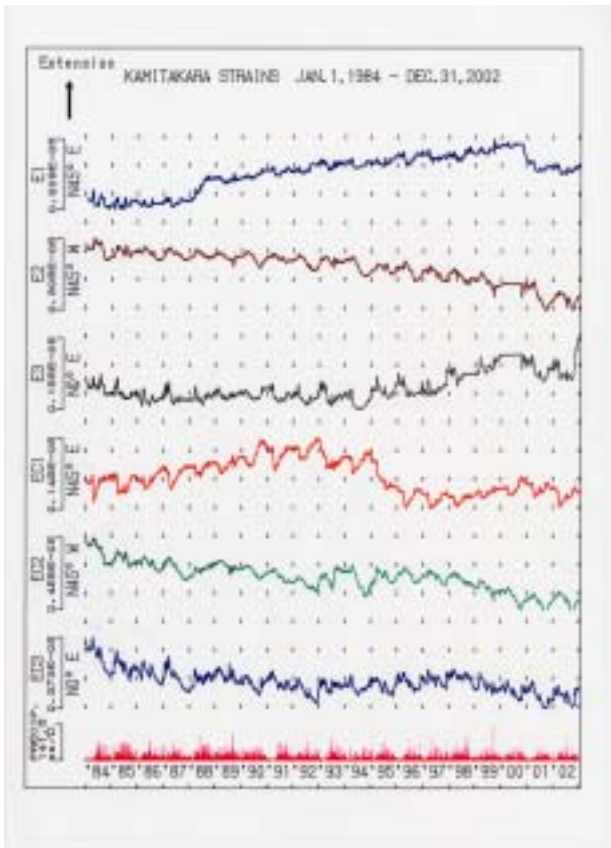


図1 蔵柱観測室における地殻歪の日値及び日雨量

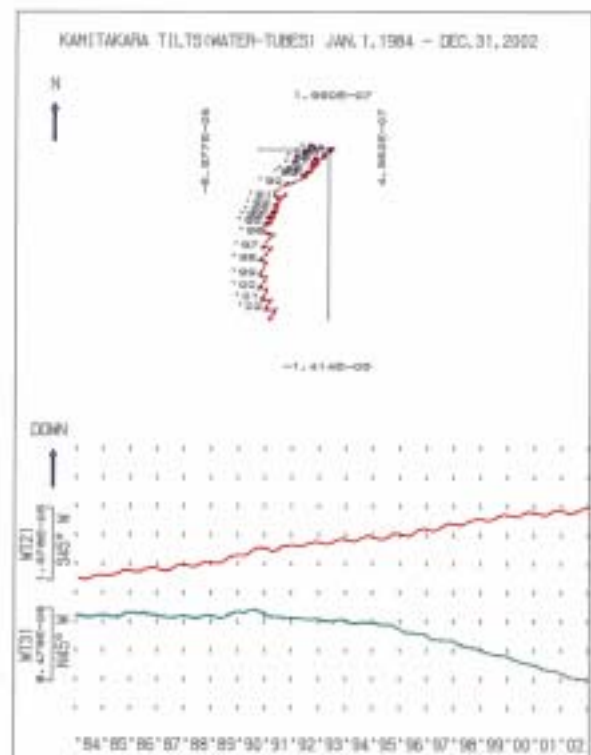


図2 蔵柱観測室における地殻傾斜のベクトル図及び日値